

令和7年度 第1回学校運営協議会

実施日	6月13日 金曜日	15:05 ~ 16:40	(場所：青洲ホール)
記載者	千野 喬司	司会	藤巻 教頭先生
欠席者	市川中学校 村松 校長先生 (代理：小林 教頭先生) 富士川中学校 小池 校長先生 (代理：河野 教頭先生)		

(1) 学校運営協議会設置通知書交付式・学校運営協議会委員会委嘱状交付式

- ① 開式の言葉
- ② 県教育委員会あいさつ
- ③ 県教育委員会職員紹介
- ④ 学校運営協議会設置通知書交付
- ⑤ 学校運営協議会委員委嘱状交付
- ⑥ 閉式の言葉

(2) 第1回学校運営協議会

- ① 開式の言葉
- ② 学校長あいさつ

今年度より設置された本協議会（コミュニティスクール）は学校と地域社会が一体となってより良い教育環境をつくっていくもの。青洲高校は確かな学力だけではなく、多様性を認め合い、職業観を抱きながら、共同しながら学び、社会を生き抜いていく力を身に付けさせることを目標としている。地域からの貴重なご意見をいただき学校と地域が力を合わせて学校の運営に取り組んでいくのがコミュニティスクールの意義。学校教育・社会教育・家庭教育の3つの柱がしっかりと連携することで生徒の成長を促していきたい。ご支援やご協力をお願いしたい。

- ③ 学校運営協議会委員紹介
- ④ 学校運営協議会の運営等に関する要綱について

【教 頭】「社会に開かれた教育課程」とは学校や教員が抱える課題が複雑化、困難化する中で、従来のように学校だけ、教職員だけでなく、学校と保護者、地域住民が一体となって次の時代を担う子供たちに求められる資質や能力を育てていこうというもの。

この社会に開かれた教育課程を実現させるために、地域教育行政の組織及び運営に関する法律が一部改正され、日本全国の全ての学校において学校運営協議会が設置される。本校では、教育委員会から、各方面でご活躍いただいている皆様方に学校評議員としてその委嘱状が手渡され本日山梨県立青洲

高等学校の学校運営協議会・コミュニティスクールが誕生した。

学校運営協議会の役割は、学校運営や教育活動に関して校長が作成する基本的な方針や学校の経営ビジョンとそれを具現化させるための具体的な方策について承認すること。また、学校に対する意見具申、学校評価アンケートや教育活動の視察を通してアイデアを出してもらうこと。評議員の皆様方からいただいたアイデアや助言を即座に学校運営や教育活動に反映させて、生徒の育成を、これまでの学校慣例や教職員の決まった価値観にとらわれることなく、幅広い社会のニーズを学校運営に反映させたい。

⑤ 学校運営協議会会長及び副会長選出

会 長 丹沢 公彦 様

副会長 一瀬 浩 様

⑥ 議事

ア 学校運営基本方針

【校 長】学校創立6年目。本年度の本校の実践内容は青洲グランドデザイン2025にまとめてある。チャレンジ精神を持ち、地域や国際社会の様々な分野で活躍する人材を育成し、国内外とのつながりを生み出し、未来創出を目指すというのがスクールミッション。授業、教科指導を中心とした教育活動全般で知識の習得とその活用を図るとともに、生徒一人一人の社会性の育成、生徒自身が主体的に自己実現に向け動き出せるように教育していく。創立時のコンセプトは変わらない、5年間のデータベースもある。生徒と教員が共同体感覚を持ってより良い学校になるように邁進していく。皆様には、良いかたちで10周年を迎えるための後ろ盾になっていただきたい。本校が育てたい力として「自ら考える力」「つながる力」「挑む力」「成し遂げる力」が挙げられる。生徒主体で様々な挑戦をさせたい。更に、努力を継続するための我慢する力や自分を表現する力を付けさせたい。そして、気配り思いやりがある生徒を育てていきたい。3つの科があるが、それぞれの学科の特性を活かし進路実現のため教育活動を行っていく。本校職員には「対話重視で生徒の心に火を灯し、やる気を出させるような指導」、「個別最適な学びやBYODの活用を推進し、わかる授業を行う」、「PDCAサイクルを徹底して学び続ける姿勢を持つ」などをお願いしている。DXハイスクールで電子黒板やドローンを導入した。職業系学科があるのでキャリア教育にも力を入れていきたい。地域との連携では、青洲学で外部の方々と地域の諸問題解決に向けた授業を行っている。

まだ若い学校であるが故に金銭的な困難もある。欠員により本校職員には負担を掛けている部分もある。良いアイデアをいただければありがたい。

イ 学校評価報告書について

【教 頭】本校の教育目標を達成するために教務分掌毎に目標を設定し組織的に取り組

んでいる。保護者や生徒、教職員を対象に年間2度の学校評価アンケートを実施し、それを評価している。更に学校評価の結果や学校現場の視察を通して、健全な教育や学校運営がなされているかを、学校評議員を対象として年間2度の学校関係者アンケートを実施して評価してきた。今年度は学校運営協議会にお願いする予定である。これまでの成果や課題についてはP16参照。

教育課程、入学者選抜、進路希望調査、進路実績・部活成績等はP17～参照

ウ いじめ防止基本方針について（別紙）

- 【教 頭】 いじめやハラスメントは社会的問題として取り沙汰されている。本校では、「いじめを起こさない」、「いじめを認めない」、「いじめに向かわせない」といったいじめ防止教育を推進している。昨年度は「からかい」や「ちょっかい」などの事案があったが、問題の大小に関わらず毅然とした対応をとってきた。これまで本校では、いじめの重大事態にあたる事案は発生していないが、万が一、発生した場合には、本協議会の皆様には、いじめ対策委員の一員としてご協力をお願いいたします。

エ その他

- 【立川様】 山日新聞に掲載された「やまなし職業系高校応援基金」について、地元企業の寄付で賄うとなっていたが、主導は県教育委員会なのか、各学校なのか教えていただきたい。
- 【校 長】 これまでは特定高校に基金が集まっていた。「やまなし職業系高校応援基金」では、学校を指名して集められた基金も半分は県へ入り、それを各高校で分配するような仕組み。県が主となり進めていく。

⑧連絡事項

ア 令和7年度年間行事予定について

- 【教 頭】 P31～参照。近いところでは、来週の土曜日に瑠璃店を開催する。是非ご参加いただき、生徒達の生の姿を見ていただきたい。

(3) 意見交換

- 【柳沢様】 部活が盛んであるが。部活の予算が足りない、寄付を募りたいといったことはあるか。
- 【校 長】 生徒の個人負担額が多くなっている。6割程度を学校で負担し、残りを受益者負担としている。後援会のような組織があればいいが、若い学校のため難しい。クラウドファンディングも考えたが手数料がかかるため、手が出せていない。
- 【教 頭】 地元の産業、特に中小企業を盛り上げたい。担い手不足は大きな問題。解決に向けて教員も取り組んでいるが成果が出ていない。アドバイス欲しい。
- 【河野様】 かつて市川地区の中学生は甲府地域に流れていたが、青洲高校ができて生徒が地元に残るようになった。ただ、普通科志向というところもある。

【齊藤様】 大学へ進学したまま地元に戻らない生徒多い。県としてUターン就職に力を入れたこともあった。現在は人材不足だが、会社も厳しい選別をしている。中小企業は大卒者の就職先候補から外れている。工業系学科でも進学者が増えている印象もある。先ず高校の段階で会社見学の機会を多く設けて欲しい。

(4) 閉会の言葉

次回は10月9日に行います。資料等、ご要望があればお申し付けください。